

松林

No.25

令和8年2月18日
校長 古瀬 義房



●学校の様子● 松林フェスタ（作品展編）



松林小学校の作品展は、「作って飾って見て」では終わりません。日々の「わくわくアート」での学びを生かして、対話を楽しみながら作品鑑賞を楽しみました。



1年生と2年生は自分で作った洋服、帽子で校内をファッションショーしました。上学年のみんなが拍手でお出迎えです。



5年生が、お家の方に、作品ガイドに挑戦しました。



6年生と1年生がクイズをしながら鑑賞しました。



5年生と2年生が作品について楽しく話をしました。



4年生と3年生はチームで作品鑑賞をしました。

ニコニコラム

生活指導主任
特別支援コーディネーター

今月は、本校の教育目標の一つである「自立」と、2月の生活目標の「相手のことを考えて」をキーワードに、改めてSNSやオンラインなどについて考えたいと思います。

2月の生活目標

【生活】相手のことを考えて行動しよう。

【安全】雨の日、雪の日の安全な歩行。

松林小学校では「松林小学校10のSNSルール」を設定しています。(詳しくは10月号の学校便りに掲載しています。)

画面の向こう側にいるのは「人」であり、使い方を一歩間違えると、自分も相手も悲しい気持ちになってしまいます。「自分がされて嫌な事は、ネットの世界でも絶対にしない」を合言葉に安全に活用できるよう、指導していきます。



【家庭は『最後の砦』】



最近、ニュースなどでもSNSやオンラインゲームを介した友人関係のトラブル、および深夜までの利用による生活リズムの乱れが、学校生活にも影響を及ぼす事例が見られるようになりました。保護者の皆様には、以下の「3つのステップ」での見守りをお願いいたします。

1、ルールの「定期的なアップデート」

「夜〇時まで」「リビングで使う」といった初めのルールが形骸化していることはありませんか？お子様の成長や利用状況に合わせ、御家庭で対話しながらルールを更新することもおすすめです。

2、フィルタリングと課金制限の再確認

フィルタリング設定(ペアレンタルコントロール)は、お子様をトラブルの火種から物理的に遠ざけるための「防具」です。今一度、設定状況を御確認ください。

3、「失敗」を話せる関係性づくり

もしトラブルに巻き込まれた時、お子様が「怒られるから隠そう」とってしまうのが一番危険です。学校でも「何か変だと思ったらすぐに大人に相談しよう」と伝えています。ぜひ御家庭でも「変だなど思ったり、心配なことがあったらすぐに教えてね。一緒に解決しよう」という姿勢を日頃から示してあげてください。

【一年間の成長を最高のバトンに変えて】

立春を過ぎ、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。この時期になると、保護者の皆様から「来年度、新しいクラスでもやっていけるのかな。」「担任の先生が変わっても大丈夫かな。」といった不安の声をお聞きします。新しい環境への不安は、大人だけでなく、子供達も無意識に感じとっているものです。

新しい環境への不安を「安心」に変えるコツは、この時期に「最高のバトン」を準備しておくことです。そして、その内容で最も大切なのは、お子さんがこの一年間で掴み取ってきた「成功の鍵」を伝えることです。「こんな成長をしてきた!」「このサポートは継続してほしい。」など、上手くいった支援方法を共有することが、次年度のスムーズなスタートに繋がります。

この一年間、お子さんの一番近くで向き合ってきた保護者の方と現担任が、お子さんの成長を共有しておくことで、支援のバトンが途切れず、次に繋げることができます。まつのこ学級やはばたき教室では年度末に面談の機会を設けていますので、ぜひ、次年度に向けて、一年間のお子さんの成長を共有したいと考えております。また、その他のお子さんにつきましても、次年度の支援等でご心配なことがありましたら、特別支援コーディネーターまでお気軽にご相談ください。